

横浜教育サポートフォーラム おひさまの会
第57回「おひさまの会」報告

立派な校舎が建ったのに・・・

～～～カンボジア教育の現状～～～

日時：令和元年6月1日（土）
会場：横浜南フォーラム南太田
（男女共同参画センター）
講師：住田 平吉氏

第57回おひさまの会は、令和時代に入っはじめての会で講師に住田平吉先生をお迎えして、カンボジア教育の現状についてお話をいただきました。住田先生は、横浜市立小学校長を退職後2001年から school aid japan の事務局長を2016年に離職するまで16年間務め、その間にカンボジアに多くの小学校を建てられました。カンボジアの新しいNGO法では法人化されていないと支援活動ができないため、また確実に継続した支援が行えるように2017年一般社団法人SSFC（sumita scholarship foundation）を設立しました。2018年には公益認定を取得し公益社団法人SSFC（sumita scholarship foundation Cambodia）となり代表理事を務めるかたわら、カンボジアの先生の指導、奨学金の給付等の活動を現在も続けられています。



講師 住田 平吉氏

公益社団法人SSFCがカンボジアで行っている教育支援

① 就学支援

成績が優秀で能力があっても貧困のために働かなくてはならないので、学校を退学してしまう生徒が大勢いる。そういった境遇の生徒たちに奨学金を給付して勉強を続けられるように支援している。

② 先生の指導力向上の支援

先生が増えたとはいえ教室も先生も絶対数が不足している。「生徒によくわかる授業」の考え方の指導や模範授業を行い、自分で工夫した授業を実践してもらおう。それらをまとめて先生用授業ハンドブックの作成をする。

また、授業に必要な教具作りや必要なアドバイスをを行い、先生の指導力が向上するよう支援している。

③指導環境の支援

教科によって必要となる教材教具や図鑑、辞典、視聴覚機器等を提供している。また教室が不足している学校には校舎の設置支援もしている。

参加者の感想

☆素晴らしい講師の先生のお話を拝聴させていただきました。具体的で分かり易く、カンボジアの教育の実態にふれて考えさせられました。何より先生ご自身の意欲実力が伝わっていい仕事をされている事がよくわかりました。ありがとうございました。

☆とても心に響く内容でした。住田先生のお人柄がとても伝わってくる内容でした。ありがとうございました。

☆国の様子はいろいろとあり、日本に住む人間は改めて幸せであると思いました。高齢者でもう先はないと思わず、もっともっと頑張らなくてはならないと思いました。ありがとうございました。

☆エネルギーッシュで熱い講師の先生のお話に啓発されました。視点を変えて又、講演会が実現できればと願っています

☆住田先生の熱意に唯々感嘆。お体に気をつけて、さらなるご活躍を願っております。ありがとうございました。

☆住田先生のお話し、初めてお聞きいたしました。カンボジアの状況が良く分かりました。240校も学校ができて良かったと思いがちですが、それが活かされるようこんなに手をかけていらっしゃる実状が良く分かりました。今後はより深くみていきたい、いかなければいけないと思いました。自分にできる事は何か考え、少しでも力になることがあればしていきたいと思ってお貴重なお話し本当にありがとうございました。

☆カンボジアでの教育の現状について、丁寧に説明していただきよく分かりました。講師の先生が如何に苦勞されながら頑張ってお活動されてきたことについても理解できました。今日は、貴重なお話をお聞きできてとても良かったです。

☆本日は、大変貴重な話を聞き感動しました。ニラハった話を他の人（自治会等）に聞いて頂きたいと思っています。引き続き今後とも頑張ってお活躍されるよう祈念しています。

☆熱いお話でした。カンボジアに240校の学校を創り、先生方の研修にあたり教育行政をも動かした。出来ない事です。スライドに偽りのないその成果が現れていました。話を聞けてとてもよかったです。

☆この会をはじめて知りました。住田氏とはいろいろ連絡し合っています。いつも聞いている話以上の内容が聞けてとても嬉しかったです。

※当日は、「カシューナッツ」や「ドライフルーツ マンゴウ」の販売もあり、利益はカンボジア教育活動の支援金として使わせていただきます。又、鍵盤ハーモニカを寄贈していただきありがとうございました。

記録：坂間